

q科目名	母性看護援助論Ⅰ (妊娠期)	分野/教育内容	専門分野／母性看護学	
開講年次・時期	2年前期 令和8年4月	単位数/時間	1単位/30時間 ・ <u>妊娠(15時間)</u> ・ 分娩(15時間)を合わせて1単位	
講師	千葉 勝子	所属・役職	岩手県立宮古高等看護学院	
		資格・免許	助産師・看護師	
授業の概要	妊娠期の妊婦および家族の看護について妊娠期の身体的変化、心理・社会的変化を理解し、妊婦及び胎児のアセスメント、妊婦の保健指導、家族を含めた看護・看護技術について学ぶ			
到達目標	1. 正常な妊娠の経過、妊娠期における母体、胎児の生理的变化について理解し、アセスメントができる 2. 妊婦と家族が健康を保持するための援助や出産・育児に向けた援助を理解する			
事前学習内容	授業内容に関連する範囲の教科書を読んでおく			
成績評価の方法	試験による評価 80点 保健指導指導案・教材作成 20点 合計100点			
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践 2026年1月20日発行第3版第3刷 ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術 2026年1月20日発行第6版第3刷			
授業回数	授業概要（主な学習内容）		講師	
第1回	1. 妊娠期における看護師の役割 妊婦の生理 ①妊娠に関連する定義 ②妊娠の成立 ③胎児の成長		千葉	
第2回	2. 妊娠の生理 ①妊娠の生理 ②マイナートラブル 3. 妊婦と胎児のアセスメント ①妊婦健康診査における看護 ②妊婦健診初診で行われるアセスメント ③初診以降の妊婦健診で行われるアセスメント			
第3回	4. 出産を控えた妊婦と家族の心理社会的変化と看護 ①. 妊婦の心理社会的変化と看護。 ②. 出産を控えた家族の心理社会的変化と看護			
第4回	5. 妊娠期の健康維持のためのセルフマネジメント			
第5回	1. 出産と子育ての準備の看護			
第6回	妊娠期における保健指導の実際		千葉	講義 個人ワーク
第7回	妊娠期における保健指導の実際			
履修上の留意点	・ 母子を取りまく環境、現代の家族の在り方など、社会の動向と連動し看護の役割についての学びを深める ・ 分からない言葉はそのままにせず調べながら学習し、積極的に授業に臨む			